

2022年6月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
12	13	14 20:00 OPEC月報 21:30 米国生産者物価指数	15 05:30 API週間原油在庫 17:00 IEA月報 21:30 米国小売売上高 23:30 EIA原油在庫量	16 03:00 FOMC政策金利発表 20:00 BOE政策金利発表 21:30 米国失業保険申請件数 21:30 フィラデルフィア連銀製造業景気指数	17 12:00 日銀政策金利発表 18:00 コロ圏消費者物価指数	18 02:00 ベーカーヒューズ社のリグカウント 02:00 ベーカーヒューズ社のリグ稼働数 04:30 CFTC原油ネットポジション
19	20	21 23:00 米国中古住宅販売戸数	22 05:30 API週間原油在庫 15:00 英国消費者物価指数 23:30 EIA原油在庫量	23 21:30 米国失業保険申請件数	24 08:30 日本消費者物価指数 15:00 英国小売売上高 23:00 米国新築住宅販売戸数	25 02:00 ベーカーヒューズ社のリグカウント 02:00 ベーカーヒューズ社のリグ稼働数 04:30 CFTC原油ネットポジション
26	27 21:30 米国コア耐久財受注 23:00 中古住宅販売保留指数	28 23:00 リッチモンド連銀製造業指数 23:00 米国消費者信頼感指数	29 05:30 API週間原油在庫 21:30 米国第1四半期GDP 23:30 EIA原油在庫量	30 10:30 中国製造業PMI 15:00 英国第4四半期GDP 21:30 米国失業保険申請件数		
		<p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月前半の原油価格は、OPECプラスが表面的には増産受け入れた格好となったが、実質の増産量は限定的であることや増産目標達成できるか不明であること、サウジアラビアのOSPが市場予想を上回る水準となったことから高値圏で推移。 ・今後の原油価格見通しについて、ゴールドマン・サックスは7-9月期に150ドル、大手資源商社のトラフィグラは年内に150ドルと強気の予想も出ており、今後も値上がり余地が十分にあるものと考えられる。 ・需給構造が変わらない中、金融緩和を続ける日銀に対してFRB、ECBが利上げを決定し、欧米と日本との金利差が広がり円に強い下落圧力がかかる状態が続く見込みで、円建て原油については更なる値上げも予想される。 				